

## 行財政改革特別委員会 具体的検討事項のまとめ

(調査事項：「水族館の運営計画に関すること」)

当委員会は、令和2年5月27日の臨時会において設置され、今期の調査事項を「区有施設、公有地等の活用に関すること」、「水族館の運営計画に関すること」、「危機管理に関すること」、「財源確保に関すること」および「働き方改革に関すること」の5本とし、委員会を運営してまいりました。

このうち、「水族館の運営計画に関すること」においては、30周年を迎えるしながわ水族館の今後の計画について、さらなるにぎわいの創出の観点から、しながわ水族館の視察を含めて調査・研究を進めました。

しながわ水族館の視察では、施設の見学などをした後、館長等との意見交換を行いました。その後の委員会においては、しながわ水族館顧客満足度満点プロジェクトにおける魅力向上策の検討内容について理事者より説明を受け、視察の内容を踏まえて議論し、今後のしながわ水族館のあり方について、委員から様々な意見が挙げられました。

本まとめは、当委員会で調査・研究を重ねてきた内容を取りまとめたものであります。つきましては、今後の品川区における行財政改革に関し、本委員会での議論で委員より出された意見や本まとめを活かして施策を展開していただくよう求めます。

### 記

- (1) しながわ水族館の社会教育施設としての役割や公園の中にある立地などの特徴を活かし、近隣の水族館との差別化を図られたい。また、名称にも差別化のための工夫を図られたい。
- (2) しながわ水族館としながわ区民公園が一体的ににぎわいを創出できるような検討を図られたい。
- (3) しながわ水族館の理念について、SDGsの目標を踏まえた検討を進められたい。
- (4) しながわ水族館と（仮称）品川区立環境学習交流施設との連携など、海洋と環境の持続可能性に着目した区独自の取組みを検討されたい。
- (5) しながわ水族館顧客満足度満点プロジェクトにおける専門家会議の意見を重視した検討を進められたい。
- (6) 公立水族館であることを活かした研究機能やその展示等を検討されたい。



## 行財政改革特別委員会 具体的検討事項のまとめ

(調査事項：「危機管理に関すること」)

当委員会は、令和2年5月27日の臨時会において設置され、今期の調査事項を「区有施設、公有地等の活用に関すること」、「水族館の運営計画に関すること」、「危機管理に関すること」、「財源確保に関すること」および「働き方改革に関すること」の5本とし、委員会を運営してまいりました。

このうち、「危機管理に関すること」においては、全庁的な危機管理対応について着目し、平時からの備えや新型コロナウイルス感染症対策本部会議の取組み状況などに関して理事者より説明を受け、調査・研究を行いました。質疑応答では、新型コロナウイルス感染症対策本部についての情報共有や情報発信方法に関する意見等が挙げられ、今後の危機管理対応のあり方について議論が交わされました。

本まとめは、当委員会で調査・研究を重ねてきた内容を取りまとめたものであります。つきましては、今後の品川区における行財政改革に関し、本委員会での議論で委員より出された意見や本まとめを活かして施策を展開していただくよう求めます。

### 記

- (1) 危機管理等の各種対策本部における各所管部署の役割分担について、対外的に分かりやすい運営となるように努められたい。
- (2) 危機管理対応に注力するため、危機管理等の各種対策本部の運営においては、電子媒体による事前の情報共有を行うなど、現場での会議を必要最小限とするような工夫に努められたい。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策本部に関するホームページでの情報提供について、より分かりやすい内容とするように検討されたい。また、資料や議事録の公開についても検討されたい。
- (4) 情報発信の基準を明確化するなど、情報発信に関する危機管理対策について検討されたい。
- (5) 情報に関する危機管理の観点から、区民の情報リテラシーを高める取組みを推進されたい。
- (6) 危機管理等の各種対策本部と区議会との情報共有や連絡調整等のあり方について検討されたい。



## 行財政改革特別委員会 具体的検討事項のまとめ

(調査事項：「働き方改革に関すること」)

当委員会は、令和2年5月27日の臨時会において設置され、今期の調査事項を「区有施設、公有地等の活用に関すること」、「水族館の運営計画に関すること」、「危機管理に関すること」、「財源確保に関すること」および「働き方改革に関すること」の5本とし、委員会を運営してまいりました。

このうち「働き方改革に関すること」においては、「テレワーク」と「チャットボット、ICT」という2つのテーマに分けて、調査・研究を行いました。

まず、「テレワーク」については、テレワークが推進されている背景、新型コロナウイルス感染拡大防止のために実施した在宅勤務の実施状況や今後テレワークに取り組む場合の課題などについて理事者より説明を受け、テレワークの導入にあたり重視すべきポイントなどについて意見交換をしました。

次に、「チャットボット、ICT」については、ICTの活用に係る社会的背景、これまでの区の実績や今後の区のICT活用方針について理事者より説明を受け、区民サービスの向上につながるICTの活用や区の働き方改革のあり方などについて議論を深めました。

本まとめは、当委員会で調査・研究を重ねてきた内容を取りまとめたものであります。つきましては、今後の品川区における行財政改革に関し、本委員会での議論で委員より出された意見や本まとめを活かして施策を展開していただくよう求めます。

### 記

#### ○ テレワークについて

- (1) 区民サービスの向上につながるテレワークの検討を図られたい。
- (2) テレワークの導入に際して、労務管理や勤務条件についてしっかりと検討されたい。
- (3) テレワークの導入にあたっては、自治体の業務の性質上必要となる対面や現場での対応を考慮して、丁寧に検討を進められたい。
- (4) テレワークを導入する際には、テレワーク中に執行機関と議員がオンラインでやり取りを行うことができるシステムの構築を検討されたい。
- (5) 労働環境の改善と区民サービスのさらなる向上を目的として働き方改革を進められたい。
- (6) 区の業務の効率化に向けた組織風土の改善において、若手職員に焦点を当てた意識改革に取り組まれたい。

## ○ チャットボット、ICTについて

- (1) 区民サービスの向上につながるICTの活用を図られたい。
- (2) 行政手続のワンストップ化や書かない窓口に向けた取組みを推進されたい。
- (3) 職員の労働環境の改善や仕事の質の向上を目的としたICTの活用を図られたい。
- (4) ICT人材の確保について問題意識を持って取り組まれたい。
- (5) 情報システム等に係る仕様の標準化について研究されたい。また、標準化にあたっては、既存の区のシステムの独自性を活かせるように検討されたい。

## オリンピック・パラリンピック推進特別委員会 具体的検討事項のまとめ

(調査事項：「機運醸成に関すること」)

当委員会は、令和2年5月27日の臨時会において設置され、今期の調査事項を「機運醸成に関すること」、「レガシー政策に関すること」、「アリーナ・障害者スポーツ施設に関すること」、「文化プログラムに関すること」および「環境・リサイクルに関すること」の5項目とし、委員会を運営してまいりました。

このうち、「機運醸成に関すること」では、東京2020大会が新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催延期となったことに伴い、大会へ向けた区の事業予定の見直しや新たな取組等について議論を行いました。

本まとめは、当委員会で調査・研究を重ねてきた内容を取りまとめたものであります。つきましては、今後の品川区におけるオリンピック・パラリンピックに関する施策の展開に際し、本まとめを活かしていただくよう求めます。

## 記

- (1) 東京2020大会に向けて区民が前向きになれるような情報発信を行うこと。
- (2) 品川区が東京2020大会を盛り上げているということが選手にも届くような発信を行うこと。
- (3) 機運醸成のための手段として、ホームページ、SNS、動画配信等、オンラインの活用を積極的に行うこと。
- (4) 機運醸成イベント実施の際や大会期間中においては、参加者の安心・安全を保障するため、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、万全の体制を整えるとともに、対策を講じていることについて周知・啓発すること。

※ 上記意見は、調査を行った令和2年7月2日時点のものです。ついては、本まとめ作成時における新型コロナウイルスの感染状況等と合致しない場合があります。





## オリンピック・パラリンピック推進特別委員会 具体的検討事項のまとめ

### (調査事項：「レガシー政策に関すること」)

当委員会は、令和2年5月27日の臨時会において設置され、今期の調査事項を「機運醸成に関すること」、「レガシー政策に関すること」、「アリーナ・障害者スポーツ施設に関すること」、「文化プログラムに関すること」および「環境・リサイクルに関すること」の5項目とし、委員会を運営してまいりました。

このうち、「レガシー政策に関すること」では、区独自ボランティア「しな助」および品川区内開催競技・区応援競技であるホッケー、ビーチバレーボール、ブラインドサッカーの3競技について、調査・研究を進めました。区独自ボランティア「しな助」については、東京2020大会延期や新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動がままならない中での活動の方策、さらに大会後の展開について議論を行いました。3競技については、ビーチバレーボールの競技会場である都立潮風公園を視察し、大会を契機とした3競技の振興、普及、応援に関する取組、そして大会後を見据えたレガシーの創出等に関して、様々な提案を行いました。

本まとめは、当委員会で調査・研究を重ねてきた内容を取りまとめたものであります。つきましては、今後の品川区におけるオリンピック・パラリンピックに関する施策の展開に際し、本まとめを活かしていただくよう求めます。

### 記

- (1) 「しな助」のモチベーションを維持し、東京2020大会時に活動できるように、絶えず情報提供を行うなどして働きかけること。
- (2) 東京2020大会後に「しな助」としては解散するとしても、継続してボランティア活動等に携わってもらえるような支援や仕組みづくりを図ること。また、「しな助」自身のアイデアや思い、興味・関心等を尊重し、支援をする場の提供や体制づくりを図ること。
- (3) 東京2020大会や大会に向けた取組を通して競技に関心を持った区民が、大会後も継続して競技・スポーツ全般に親しめるよう環境整備を図ること。
- (4) 競技の普及のため、大会誘致等により観戦する機会を積極的に創出すること。

- (5) オンライン配信等、コロナ禍の中で変わる競技の観戦・応援のあり方について、競技会場の臨場感を感じられるように研究し、工夫を図ること。
- (6) ブラインドサッカーにおいては、競技を通じた障害者への理解促進や制度の充実等共生社会の実現に向け、関係所管課との連携をより一層強めるとともに、区を挙げて取り組むこと。
- (7) パペレシアル品川と町会・自治会、商店街、企業、団体等とが交流することのできる機会を創出し、チーム応援の機運を盛り上げる等、区としての支援のあり方を研究すること。
- (8) 東京2020大会や大会に向けた取組等の活動記録を作成し、有形・無形を問わず様々な場面に残すことができるよう、全庁的に連携して取り組むこと。

※ 上記意見は、調査を行った令和2年9月28日、同年12月4日および令和3年2月26日時点のものです。ついては、本まとめ作成時における新型コロナウイルスの感染状況等と合致しない場合があります。

## オリンピック・パラリンピック推進特別委員会 具体的検討事項のまとめ (調査事項：「アリーナ・障害者スポーツ施設に関すること」)

当委員会は、令和2年5月27日の臨時会において設置され、今期の調査事項を「機運醸成に関すること」、「レガシー政策に関すること」、「アリーナ・障害者スポーツ施設に関すること」、「文化プログラムに関すること」および「環境・リサイクルに関すること」の5項目とし、委員会を運営してまいりました。

このうち、「アリーナ・障害者スポーツ施設に関すること」では、23区を中心とした都内の施設状況等について理事者から説明を受け、アリーナ・障害者スポーツ施設のあり方について委員間で討議を行い、研究を進めました。

本まとめは、当委員会で調査・研究を重ねてきた内容を取りまとめたものであります。つきましては、今後の品川区におけるオリンピック・パラリンピックに関する施策の展開に際し、本まとめを活かしていただくよう求めます。

### 記

- (1) 障害の有無に関わらず誰もがスポーツをみる・する等親しむことのできる施設のあり方について調査・研究すること。
- (2) 既存の区スポーツ施設の利用時間・利用場所、料金設定等においては、障害の有無に関わらず誰もが気軽にスポーツをすることのできる環境整備により一層取り組むこと。
- (3) 障害者スポーツの環境の整備・充実のため、東京都に城南エリアへの障害者スポーツ施設設置を積極的に求めること。



## オリンピック・パラリンピック推進特別委員会 具体的検討事項のまとめ (調査事項：「文化プログラムに関すること」)

当委員会は、令和2年5月27日の臨時会において設置され、今期の調査事項を「機運醸成に関すること」、「レガシー政策に関すること」、「アリーナ・障害者スポーツ施設に関すること」、「文化プログラムに関すること」および「環境・リサイクルに関すること」の5項目とし、委員会を運営してまいりました。

このうち、「文化プログラムに関すること」では、新型コロナウイルス感染拡大によるイベントの中止・延期等で多大な影響が生じている品川区の文化芸術事業や文化プログラム参加団体の現状と今後の取組について、理事者から説明を受け、関係団体に対しどのような支援ができるかなどの議論を行いました。

本まとめは、当委員会で調査・研究を重ねてきた内容を取りまとめたものであります。つきましては、今後の品川区におけるオリンピック・パラリンピックに関する施策の展開に際し、本まとめを活かしていただくよう求めます。

### 記

- (1) コロナ禍であっても、動画配信等、積極的にオンラインを活用するなどして工夫を図り、品川区の文化・芸術の機運を醸成するために取り組むこと。
- (2) しながわ文化プログラム認証事業について、ロゴマークを積極的に活用して推進すること。



## オリンピック・パラリンピック推進特別委員会 具体的検討事項のまとめ

### (調査事項：「環境・リサイクルに関すること」)

当委員会は、令和2年5月27日の臨時会において設置され、今期の調査事項を「機運醸成に関すること」、「レガシー政策に関すること」、「アリーナ・障害者スポーツ施設に関すること」、「文化プログラムに関すること」および「環境・リサイクルに関すること」の5項目とし、委員会を運営してまいりました。

このうち、「環境・リサイクルに関すること」では、廃プラ・CO2削減、集団回収を含む品川区としての環境・リサイクルに関する取組、さらに、みんなのメダルプロジェクトなど、東京2020大会に関連した事業について、理事者から説明を受け、各種事業・取組をより一層推進するための様々な提案を行いました。

本まとめは、当委員会で調査・研究を重ねてきた内容を取りまとめたものであります。つきましては、今後の品川区におけるオリンピック・パラリンピックに関する施策の展開に際し、本まとめを活かしていただくよう求めます。

### 記

- (1) ペットボトル削減のため、マイボトル普及・啓発の取組等を推進すること。
- (2) 各種団体・企業等と連携し、SHINAGAWA“もったいない”推進店やマイボトル普及等の事業を拡充すること。
- (3) 各種イベントにおけるモールド容器や木製スプーン等の使用について、出展者や地域住民が取り入れやすい仕組みを研究し、使い捨てプラスチックの更なる削減を図ること。

